

資料

第6回産業振興分科会資料

2006年3月22日

議事次第

■ 分科会は合計2時間で行います

次第	時間	内容
1 開会	5分	①挨拶 ②出欠確認(出欠表の記入) ③前回の検討内容(議事録・整理表)の確認
2 検討の進め方	10分	①検討の進め方に関する説明 ②本日の目標確認
3 話し合い	90分	
4 とりまとめ	10分	
5 閉会	5分	①次回の内容 ②次回の日程 ③意見・質問 ④最終総括(会長)

本日の分科会の目的と成果物

■ 重点課題を確認

前回、重点課題の抽出が済んでおり、まずは内容の確認を行います。

■ 重点課題を絞り込んでみます

4つのカテゴリーごとに重点課題を3～5つ程度に絞り込みます。

■ 分野横断的課題について検討します

抽出された課題のうち、分野横断的に取り組むべき課題がある場合は、どのように取り組んでいくか（分科会間の連携方法や役割分担等）を全体会で協議します。そのための題材を検討します。

重点課題を表記する際は、

- 何故当該課題が重点課題であるのかについて背景を記述する
- 実際に何が問題なのかが分かるように“具体的に”記述する

SWOT分析結果

強み

- ①一次産業がフルラインで整っている
- ②餃子がかかなり有名になってきた
- ③大消費地東京に近い
- ④いやし系観光資源が豊富
- ⑤大手企業の工場多数

弱み(問題)

- ①中心市街地が弱体化
 - ◆首都圏への近さがマイナス、個性ある店が根付かない
 - ◆年寄りの買い物が不便
- ②マーケティングが弱い
 - ◆情報発信力がない
 - ◆市のセールスマンがいない
- ③ベンチャーに対する理解の低さ
- ④産業教育系の意識が低い
- ⑤観光地としての意識が低い

SWOT分析結果

機会

こだわり商品への需要増え (農、地場等差別化商品)

- ◇価値観の多様化
- ◇専業農家が多くなり、農産物も専門化
- ◇農産物の生産の向上
- ◇地場産品の振興
- ◇市の名物で街おこし
- ◇グリーンコンシューマーの増大
- ◇質的農業の発達(有機農法や特産物)
- ◇食の安全安心

アクセス改善

- ◇首都圏への接近
- ◇北関東自動車道開通で茨城、海外への接近
- ◇有料道路料金値下げ
- ◇都心へのアクセスがよくなる
- ◇都市部から大型店が来店される(消費拡大、流行にのる)
- ◇交通基盤や情報の伝達スピード加速化により質的な物へのこだわりが出てくる
- ◇交通網が整備され、高速道からのアクセスがよくなる
- ◇商業地の集約拡大
- ◇東京に近い(メリットとデメリットの併存)
- ◇陽南通りがJR線下を開通
- ◇やはりLRT構想

相対的資源価値向上 (資源見直し機会)

- ◇観光を“売り”にしよう
- ◇観光資源が豊か
- ◇自然環境が残っていることから、いやし的な観光が進むのではないかな

開発ポテンシャル

- ◇中心街もイメージチェンジしてよくなるかも
- ◇JR宇都宮駅東口の開発
- ◇環境にやさしい街づくりはすすめられる
- ◇二荒山神社前の開発
- ◇経済特区の申請UP

政治、経済

- ◇アジア経済共同体
- ◇足銀受皿銀行の登場
- ◇地方分権化
- ◇成熟社会の進展
- ◇国会誘致?
- ◇個人の資産隔離はよくなるのでは(貯蓄、財力がある)

未来産業

- ◇ユビキタス社会実現
- ◇ハイテク産業が多くなる

その他

- ◇許容度が高い、バリアーが低い
- ◇有識な若い世代のUターン⇄都内への流入
- ◇福祉関係の充実

教育・文化・スポーツの向上

- ◇文化の向上
- ◇音楽、芸術への理解度深まる
- ◇大学の法人化
- ◇栃木弁(個性)
- ◇教育が多様化して受験地獄もなくなるかも...
- ◇栃木SCの昇格

脅威

経済環境の変化

- ◇ディーゼル車規制
- ◇地価の下落
- ◇食生活の変化、外食が多くなる(農業生産物、流通への係わり)
- ◇欲望はあっても切迫したニーズがない

既存産業の停滞

- ◇中国・インドの発展(ロシアも)
- ◇外国からの安価商品(競争激化)
- ◇超大型店の中小小売業分野への進出
- ◇ストロー効果(いいところだけ吸いとられる)
- ◇物流の変化により倒産が増えていく
- ◇進出企業の撤退
- ◇資本流出(投資機会が少ない)
- ◇空店舗通りの増加
- ◇大企業の進出が減る
- ◇東京住民の草刈場
- ◇首都圏に生活圏が入ることにより地元産業が倒れる
- ◇若者の東京志向
- ◇ベンチャーが少ない(NEET?)
- ◇雇用吸収型産業の低迷(ハイテク化)
- ◇工業団地の企業撤退
- ◇コンピュータ関連産業の地位の低下(頭脳流出)
- ◇地域金融の足腰が弱い
- ◇地元の銀行のゆくえ
- ◇伝統的工芸品産業の衰退(グローバル化)

環境(自然)悪化、産業廃棄物

- ◇温暖化、環境破壊

市のアイデンティティの埋没状況

- ◇売り方が下手
- ◇宇都宮という知名度が低い
- ◇地域力をつけよう、強めよう
- ◇空港へのアクセス
- ◇個性のない街になっていくのでは

人口問題—高齢化・少子—

- ◇高齢者向け産業の未発達
- ◇少子・高齢化(労働力が減少)
- ◇道路網は整備されても高齢者の活動範囲が狭まる
- ◇交通網が発達することにより人口の流出
- ◇子育て支援にもっと充実を

労働力の減少

- ◇商店・農業etcの後継者不足
- ◇人口増(核家族化)による農地の減少
- ◇農業人口減少、就農者高齢化
- ◇中央集権化(知識人の一極集中)
- ◇ニート増加

政治・財政の悪化

- ◇消費税アップ・政治のツケ
- ◇国へ頼りすぎの農業、農業体質弱体
- ◇各種税金の値上げ

安全・治安の悪化

- ◇犯罪は多くなるかもしれない
- ◇外国人労働者の受入、体(態)勢強化が必要

重点課題抽出結果

機会×強み

特産品

- ◇とちおとめのようなブランド農産物を他にもどんどん作り出す。全国から所望されるようにする
- ◇全国一のとちおとめでどこにも負けない加工品を開発、宇都宮の顔の一部となるように（馬路村のゆず加工品のようにこれに代る味がない）
- ◇一次産業がフルラインで整っているため、市民にも農業のよさを理解してもらい、地場ものを消費できるようにしなければ
- ◇宇都宮市の風土にあった農産物（品種）を開発し、加工産業を育成する
- ◇農産物の専門化→体験
- ◇農家の作物の専門化が必要（特色ある～さんちの～など）
- ◇産地のカムリをつけた産物を販売する方法で
- ◇特産の農産物を全国、アジア市場にまで広げる
- ◇価値観の多様化に対応できる農産物マーケティングをより検討すべき（宇都宮の食材を使う店）
- ◇新鮮農産物に専門性をもたせる（群馬とはちがうPR）
- ◇一次産業がフル。農産物が専門化することにより、消費拡大を図る販売網を作る
- ◇首都圏に近いメリット→地場産品の振興
- ◇Eコマース・システムを活用する（ヤフーとの提携もありうる）
- ◇特産品の直売所（アンテナショップ）をつくる
- ◇いちご特産物の様な、特筆する農産物の生産と農家への育成を考える
- ◇より安全で質の高い農生産物の安定供給
- ◇オリジナル農産物の研究・開発施設（農業ベンチャーの促進）

アクセス

- ◇北関東自動車道の開通で海が近くなるので、魚料理の食文化を高めていく

地元民

- ◇教育・文化・スポーツを向上させるには、地元民と大手企業等からの流入人口との協調理解が大切だ！

ぎょうざ

- ◇餃子で結ぶ全国ネットワークを進めていく（餃子家族など）
- ◇ぎょうざの街を持続するためにぎょうざ通りとかぎょうざタウンをつくろう
- ◇餃子に関連する産業の育成（材料を宇都宮市の様々な農家・小麦工場から調達）
- ◇宇都宮の特産物を市民が再認識し、地産地消をすすめる工夫

観光

- ◇大谷などの開発を進めるのはアクセスを工夫すべき
- ◇いやしの追求。本当のいやしを提供できる仕掛けを
- ◇いやし系観光地のPR・呼び込みを活発に行って存在を知らせる
- ◇豊かな観光資源を売りにする

企業

- ◇進出大企業の製品展示会を開く
- ◇大手企業の工場誘致は補助金が従来より出るとの事なので、チャンスではないか
- ◇工場誘致を熱心に。その周辺は人が増え、にぎやかになる
- ◇進出大手企業に地元雇用比率を（義務）指導する

再開発

- ◇宇都宮城の完成→一人々の憩いの場所としよう
- ◇歴史のある街を強調した開発をする（宇都宮城址、百人一首）

教育

- ◇進出企業の幹部と地元経済人の定例的な交流会を開く

他

- ◇宇都宮市を活気がある市とよその人はとらえているという。ルイヴィトン級の店をひとつ誘致しよう

機会×弱み

教育

- ◇進出企業の幹部と地元経済人の定例的な交流会を開く
- ◇安全な食について学校教育と市民教育を徹底して行う
- ◇アクセスが良くなる。大都市への特産物へのアピール、コマーシャル
- ◇産業教育系の意識が低いのは未来産業の導入などで活性化出来るのでは
- ◇食の安全、安心を地域でもっと理解を深める
- ◇子供世代に経済や地球レベルの環境問題を教える
- ◇消費者教育の必要性
- ◇意識が低い所がかなりの弱み。資源は有るのでどうにか市民で話せる場を
- ◇新たな基幹産業を担う人材・若手企業家の育成に力を貸そう
- ◇宇都宮のポテンシャルを自信をもって説明できる教育
- ◇マニー、中西など世界的企業を市民が誇れるように教育する
- ◇小中高校等で、もっと宇都宮を勉強する機会をつくってはどうか
- ◇市民の教育、市民へのPRによる意識づけ

行政

- ◇地域経営のフロを育てる（首長は市の経営者）
- ◇企業家をささえる行政が大切
- ◇R&Dに、自治体はより多い予算を投入する

再開発

- ◇二荒山神社前に「お年寄り団地」を、周囲に専門店を誘致
- ◇中心市街地が弱体化しているので、アクセスを改善（LRT）するとともに地場商品等差別化された製品を扱う商店街へ
- ◇二荒山神社前の再開発
- ◇中心街弱体化、アクセス改善、産業開発、特産品等とからめて考えるとどうか
- ◇中心市街地へ大ベンチャー拠点を

地元民

- ◇まちづくりにリタイア高齢者のノウハウ活用策をつくる
- ◇元気印の年寄りをボランティアで活用しよう
- ◇人口ピラミッドを狭い地域単位でつくり、余剰労働力の所在を明示する
- ◇産地と需要側の交流をうながす
- ◇LOHASを支える自然を、東京に積極的に売り込む

企業

- ◇市中心部への車で用事を足す時、公的駐車場の整備を設置して欲しい。中心部に足が向かないのは駐車場の問題有
- ◇中心市街地に居住をうながす方策として計画されている二荒山神社周辺の建物づくりをすすめる
- ◇行ってみたいくなる大型店、有名店を中心市街地に誘致する
- ◇地域活性化に若者のリーダーを選び、支援する
- ◇進出大企業のディスプレイを行政がリードする
- ◇地元での雇用吸収型産業の創出（新たな基幹産業の創出）

観光

- ◇観光地・大谷・百穴等よく考えたら自分達も知らないことだらけ。資源発掘するのには、もっと知る事も必要
- ◇日光・鬼怒川・塩原・那須への通過点としてしか考えてない。市民も観光客も観光地と思うべき
- ◇大谷石文化をもっと前面に出した魅力ある商店街（統一性）の実現をめざすべき
- ◇いやし系観光地のPR・呼び込みを活発に行って存在を知らせる

デザイン

- ◇サービス産業の未来ビジョンをつくる

全体

- ◇将来の宇都宮を総合的に考えるには、たかが餃子からアピールできた市民を自負するべきだ

他

- ◇大学等の人材を生かし、ベンチャー企業を保護、育成していく

重点課題抽出結果

強み×脅威

<経済環境>

- ◇ディーゼル車規制によりクリーンな空気きれいな観光地のPR
- ◇外食が増えることで餃子の消費量さらにUP
- ◇地価の下落→零細、地場産業チャンス
- ◇地価(農地)下落→非農家の新規参入

<既存産業の停滞>

- ◇国際価格競争の激化→高級品で勝負するチャンス
- ◇食生活の変化で外食が多くなるので農産物の生産向上につながる
- ◇食生活の変化、外食が多くなる中で一次産業の復興
- ◇伝統的工芸品のPRの強化
- ◇農業人口、就農高齢化を帰農や趣味農業で代替
- ◇東京都民の草刈り場にならないよう、グリーンツーリズム農村地域の癒しの場の提供
- ◇農業政策(栃木固有の政策)長野教育界ex
- ◇若者の都会思考が増える中で働く場所の確保(工場誘致)
- ◇東京の草刈場(地元力の再発見)
- ◇ベンチャー育成(失敗を許容する価値観)

<環境悪化>

- ◇自然環境が悪化する中で一次産業を生かすには環境整備が必要(施設、設備)
- ◇産廃(モッタイナイ教育)

<人口・労働力>

- ◇労働力の減少、農業などに定年により元気な人生をムダにならないよう労働力を提供する
- ◇少子労働力減少→外国人労働者への援助支援(そうすると脅威が機会に)
- ◇後継者不足を地場商品の振興や市の街おこし等でおぎなう
- ◇労働力不足、後継者不足の中で一次産業を伸ばしていくには労働斡旋の場を設ける
- ◇人口問題→食育の普及で補う
- ◇子育て」(核家族にプレーキ、二世帯に補助)
- ◇交通網(公共交通機関)
- ◇ニート対策の推進(家事を手伝う教育等)
- ◇高齢者が現役で働き続けられる産業都市
- ◇高齢者向け産業(身の丈技術)

<政治>

- ◇増税(負担と受益の透明化)

<安全・治安>

- ◇防犯、社会の監視機能の評価、いい意味の隣組
- ◇治安の悪化→地域力の増加
- ◇安全・治安の悪化をいやし系の職業(企業)で克服

重点課題抽出結果

弱み×脅威

<既存産業>

- ◇売り方下手ストロー効果 情報力、ふるさと創生の見直し
- ◇働くのは都心、住むのは宇都宮→よいところPR(交通網の発達→みんなでPR)
- ◇高齢者による高齢者のためのお店作り(買い物が不便、産業未発達)

<アイデンティティ>

- ◇知名度を上げるためスーパー公務員の教育

<人口問題>

- ◇小学生へのキャリア教育

<Give up>

- ◇地価の下落を利用して工場誘致
- ◇ 温暖化(50年前のライフスタイルに戻れない)
- ◇大企業は宇都宮より中国
- ◇伝統産業(趣味の産業に転換)
- ◇東京の求心力(政治体制が変わらない)
- ◇安価商品の流入
- ◇人口流出(東京の経済が魅力)
- ◇農業人口の減少(額に汗しない人が多くなった)

テーマ	重点課題
•	重点課題をテーマ別に、3～5つに絞って整理してみましょう。